

かけがえのない思い出

千歳高等学校国際教養科2年 道地 美歌子

アンカレジ市とはどのような場所なのでしょうか？私は初めてアンカレジを訪れたのですが、予想以上に冷え込んでいて気温を確認してみると、マイナス20度ととても低く驚きました。外の景色は木々全体に雪が覆いかぶさってそれが氷となって幻想的な風景が広がっていました。

学校の授業が始まったのは、なんと朝の7時半でした。アラスカ州にあるアンカレジは高緯度なため冬の時期は日が昇るのが遅く、外が暗い中登校しました。また、日が沈むのも早いため、学校の授業が終わり少しすると15時くらいには薄暗くなっていました。常に時間割構成が変わる日本とは異なり、毎日同じ時間割でホームルームも無く、教科担当の先生の教室に毎時間移動して授業を受けました。お昼休みになると、生徒たちはカフェと呼ばれる、日本で例えると購買のような小さいお店でお菓子やご飯、飲み物を買ったり、学食を買って広場で食べたりしていました。また、アメリカの高校生は16歳で免許を取得することができるので外のお店でご飯を食べている生徒もいました。日本で例えると大学生のような学校生活だなと思いました。日本語クラスではプレゼンテーションを行ったのですが、発表を真剣に聞いてくれたり、内容に対して関心を持ってくれたりしてとてもやりがいを感じました。

私のホストファミリーになってくれたのは5人家族のゼリンスキー家でした。ホストファミリーにお世話になるのは初めての体験だったので緊張したのですが、温かく迎えてくれてとっても嬉しかったです。そしてとにかくお家が大きくて、お風呂が2つあって、3階建て?!とても驚きました。ゼリンスキー家は、すべての生命を尊重するという考えから菜食主義者(ベジタリアン)として生活を送っていました。菜食主義者(ベジタリアン)の人たちは、肉や魚は食わずに卵や乳類の摂食は本人の選択により、穀物・野菜・豆類などを中心にした食生活を送っているそうです。そのため、いろいろな食材を摂取する私にとっては新鮮な体験でした。食事には野菜や豆がたっぷり入ったスープやスパゲッティを食べたり、シリアルを食べた時も牛乳をかけるのではなく、豆乳をかけて食べたりしました。どの食事も美味しかったです。放課後には、バスケットボールの試合やアイスホッケーの試合を観に行きました。洋画のシーンを観ているようでとても面白かったです。夜にはホストシスターのメリタといろんな話をして過ごしました。つたない英語なのに理解しようとしてくれて嬉しかったです。休日には、アンカレジの博物館や大きなショッピングモールを訪れました。お昼ご飯にアラスカロールを食べたのですが、日本のものとは一味違う巻き寿司で美味しかったです。

最後に、私はアメリカに行くことが夢でした。それが叶い、そして異国の地で大切な家族、友達ができ本当に嬉しいです。感謝しかありません。本当にありがとうございました。

